

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 691 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

12

2013

平成25年
12月10日発行

INDEX

第5回心に響く…北のエピソード 最優秀賞・北海道知事賞 受賞作品	3
平成25年度第4回理事会	4~6
第5回「心に響く…北のエピソード」	7
用紙再値上げに「断固反対」	8
経済環境の変化に対応する資金案内	9
平成26年新春経営者研修会案内	10
北海道印刷関連業協議会 平成26年新年交礼会	10
オフセット印刷技能検定合格者	10

[表紙] キレンジャク（札幌市豊平区：12月）

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目 TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

七福神のお米

今村 彰子

5月の連休に、深川で米づくりをしている夫の実家を訪れたときのこと。

義父が離農宣言をした。

「買値がつく前に、田んぼを売りに出そうと思っている。たぶん、秋の収穫が最後になるだろう」
うすうす感じてはいた。高齢の義父。後継者のいない畑。春先まで入院していた義母。先の見えないTPP問題まで対応していかなければならず、余力が残っているうちに処分したいと、早々に決めてしまっていたという。

『今年もお米できました。たくさん食べてね!』

毎年秋をむかえたころ、義母のメッセージ入りの新米が届けられていた。

はじめは無地の袋だったが、新たな品種が加わった3年前からは、イラスト入りに変わった。宝船に乗る七福神が描かれた愛らしい柄だ。まん中でほほえむ弁財天は、どこことなく義母と重なってみえる。

「お米受けとりました。さっそくいただきますね。そういえば、袋もステキな柄に変わりましたね!」

お礼の電話をすると、「そうかい?」

はずんだ義父の声が聞こえてきた。

「農協さん通していないからね。袋はおんなじの使えないけど。やっぱりいいでしょうー。自社ブランドっていうのかい? こういうのはさ」

ユーモアを交えて話す義父のことばに、自負のようなものが感じられた。これからはもっと作付けを増やして、販売に力を入れていこう。生き残っていくために。そんな意気込みや自分たちを励ます気持ちが、表れていたのかもしれない。

炊き上がったお米は、空気や水分を絶妙にふくんでおり、つややかにかがやいていた。

かむと甘みがじんわり口じゅうに広がっていく。せつせと作られるだ液で、口の中がすぐに満たされてしまった。

本当においしかった。身内が育てた安心、安全のお米。でも、来年はもう、おいしいお米を食べることはできないのだ…。

感傷にひたっていても、9月の収穫はやってくる。できることは、無事に七福神のお米が送られてくるのを願うだけだ。

そして、最後の新米を受けとるときには、その重みを忘れずにいようと思っている。

第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会 開催日程・会場決まる 平成26年9月5日／アクセスサッポロ

平成25年度第4回理事会開催

平成25年度第4回理事会が、11月8日午後1時30分から札幌市中央区のエイト会館で全道から理事14人と監事2人が出席して開催され、明年開催する第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の開催日程・会場、次期理事長推薦委員会の設置などを決定した。

理 事会は、岡部理事長のあいさつの後、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に、報告事項として(1)事業実施状況について、北印工組の事業、全印工連の事業、関係団体の事業に大別して、第3回理事会以降の活動状況が報告された。(2)財務状況報告について、9月末の中間決算の状況が説明され、植平監事・島津監事による中間監査が行われ、適正に行われている旨の監査結果の報告が行われた。(3)北海道印刷関連業協議会平成26年新年交礼会について、1月10日午後5時から札幌グランドホテルで開催されることが説明され、多数の組合員の参加を要請した。(4)印刷用紙値上げ反対について、今秋の印刷用紙値上げに対して、日印産連が日本製紙連合会に反対表明を行い、全印工連が日本洋紙板紙卸商業組合に印刷用紙値上げに関する要望を行ったことが説明された。(5)全印工連「特別ライセンスプログラム“CC”」(2013)新規募集について、Adobe社と全印工連が提携して行っている特別ライセンスプログラムの本年度募集のクラウド版について説明された。(6)1.2ジクロロプロパン規制強化について、1.2

ジクロロプロパンが10月1日から、発がんのおそれのある特定化学物質障害予防規則対象物質として規制強化されたことが説明された。(7)平成24年北海道工業統計(速報)について、平成24年度の北海道の印刷・同関連業の事業所数(375社)、従業者数(7,724人)、製造品出荷額(120,167百万円)が説明された。(8)全印総連札幌地連からの要望について、全印総連札幌地連から「貴組合に加盟する企業が越冬手当(燃料費とそれ以外の越冬に関する費用)を正規・非正規を問わず全ての労働者に支給すること」の内容の要望を受けたことが説明された。

次に、議事に移り、

- ①平成25年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、明日に向かって「魅力ある業界づくり運動」の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の開催準備の各事業の実施スケジュールが説明され、決定した。
- ②共済制度加入促進キャンペーンについて、8月に開

催した第3回理事会で、今年度、北海道が加入促進の重点推進工組として指定されたことから、加入促進にあたり、推進担当として生命共済に第一生命(株)、設備共済と医療共済に共立(株)を指名し、理事長・組織共済事業委員長・支部長の連名の文書で組合員に加入案内を行うこととして、文書を送付したが、反応が無かったため、再度、パンフレットを同封し文書を送付することが決定された。また、各支部の会合等でPRを行っていくこととした。

③平成25年度第5回理事会、下期北海道地区印刷協議会、新春経営者研修会について、北海道印刷関連業協議会平成26年新年交礼会に合わせ、1月10日午後1時から第5回理事会、2時15分から下期北海道地区印刷協議会、3時から新春経営者研修会を開催することとした。

④『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』について、中小印刷業の産業戦略ビジョンとして、2010年の「ソリューション・プロバイダーへの進化」に、その後経済環境、業界を取り巻く環境の変化等を捉え検証し、ソリューション・プロバイダーの6類型を提唱した『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』が新しく発行されるので、組合で購入し、各組合員へ1冊を配付することとした。また、1月10日の新春経営者研修会でこのビジョンの説明を行うこととした。

⑤第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会について、平成26年に開催する第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会を2014北海道情報・印刷産業展に合わせ、9月5日(金)午後1時30分から記念式典、2時30分から記念講演、3時30分から北海道情報・印刷産業展見学をアクセスサッポロで行い、6時30分から記念懇親会を札幌パークホテルで開催することとした。



第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会

日時/会場 平成26年9月5日(金)

13:30 記念式典/アクセスサッポロ

14:30 記念講演/アクセスサッポロ

15:30 2014北海道情報・印刷産業展見学/アクセスサッポロ

18:30 記念懇親会/札幌パークホテル

⑥常設委員会について、本年度から全組合員に委員会委員を委嘱して全道委員長会議を開催しており、より充実した情報交換を行うため、教育・労務・環境委員会を全印工連の委員会に合わせ、労務・環境委員会と教育・研修委員会に分けることとし、平成26年度通常総会で委員会規約の改正を提案することとした。

⑦理事長候補者の選出手順(内規)の改正について、定款および支部規約の改正に伴い、内規にある支部長12名を9名、総代会を総会に改正することを決定した。

理事長候補者の選出手順(内規)

1. 理事長の選出手順

①北印工組は、役員改選年の改選月3ヵ月前までに、副理事長1名、支部長9名、札幌支部選出理事1名を



もって「次期理事長推薦委員会」を構成し、その総意によって、次期理事長候補者を選び、当該人の承認を得て、理事会に次期理事長候補者を推薦する。

- ②副理事長、専務理事は、組合運営が円滑に展開されることを前提に、次期理事長候補者の考えによって人選される。
- ③手続きとしては、定款に基づき、総会で役員選挙が行われたあと、理事会を開催し、理事長、副理事長、専務理事の選出を行い、正式に決定する。

2.次期理事長推薦委員会の運営

- ①推薦委員会は、副理事長1名、支部長9名、札幌支部

所属理事1名をもって構成し、そのなかから座長を選ぶ。

- ②座長は、推薦委員会を統轄し、各委員の意見を聞き協議のうえ候補者をしぼる。
- ③座長は、候補者に「次期理事長」就任（または重任）を要請する。
- ④候補者から次期理事長就任承諾の回答を得たのち、推薦委員会に報告し承認を得る。
- ⑤その後、理事会に座長が経過および推薦候補者を提案し、理事会の承認を得る。

3.この内規の改廃は、理事会で決定する。

（平成 6年 1月10日 制 定）

（平成20年 4月23日 一部改正）

（平成25年11月 8日 一部改正）

- ⑧次期理事長推薦委員会の設置について、理事長候補者の選出手順（内規）に基づき、副理事長1名、支部長9名、札幌支部選出理事1名による次期理事長推薦委員会の設置を決定した。

第5回「心に響く…北のエピソード」入賞作品決まる

第5回「心に響く…北のエピソード」事業が、「心に響く…北のエピソード」実行委員会（構成＝北海道印刷工業組合、(株)日本グラフィックサービス工業会北海道支部、(株)サクマ）の主催で開催され、6月1日から8月31日まで作品募集が行われ、415点の応募作品があり、事前審査、1次審査、本審査と3度にわたる審査が行われ、最優秀賞・北海道知事賞1作品、一般部門の優秀賞・実行委員会会長賞1作品、佳作3作品、高校生部門の優秀賞・北海道教育委員会教育長賞1作品、佳作1作品、中学生部門の優秀賞・北海道教育委員会教育長賞1作品、佳作1作品、小学生部門の優秀賞・北海道教育委員会教育長賞1作品、佳作1作品と入選89作品を決定し、11月16日に札幌プリンスホテルにおいて表彰式を開催した。

「心」に響く…北のエピソード」事業は、健全な日本文化を築くには、日本の文化、歴史の基盤である日本語を正しく理解し、「先人からの学習、教訓等」を学ぶことが大切であり、それは活字文化が持つ豊かな表現力が「人づくり、地域づくり」を可能にすると考え、その実現への1つとして、道民の皆様へ印刷との関わりを持っていただくための活動として、表現力の豊かな日本語による「心に響く…北のエピソード」作品を北海道において募集し、表彰を行い、作品集として発表することにより、道民文化の質的向上の一助にしたいと同時に活字離れを防止し、印刷文化のさらなる発展を期して、北海道ならびに北海道教育委員会の後援を受けて実施している。

表彰式は、岡部康彦実行委員会会長が主催者を代表して「皆さんは素晴らしいことをやってこられた。そういう思いで、明るい顔で、楽しんで表彰式に臨んでほしい」とあいさつを述べた後、池田哲実行委員会委員から3段階に及ぶ作品審査を行い入賞・入選作品100点を決定したと選考経過が発表された。

各賞の表彰が行われたあと、木原直彦審査委員長が審査講評として「こういう素晴らしい作品を書いたからこそ本になり、そして多くの人たちに読んでもらえる。読んだ人も大変良い思いをした。そういうことになる」と述べたあと、出席者の作品を中心に入賞作品11点それぞれについて感想が述べられた。

最後に受賞者を代表して5人から作品の制作意図や受賞の感想が述べられた。

また、入賞・入選作品は、作品集として取りまとめ、道内の公立図書館、公民館図書室に寄贈している。

入賞者の氏名・作品名は次のとおり。



第5回「心に響く…北のエピソード」入賞作品

賞	受賞者名	受賞作品名	住所・学校
最優秀賞 北海道知事賞	今村 彰子	七福神のお米	札幌市
【一般部門】			
優秀賞 実行委員会会長賞	太田由美子	夏の着物	札幌市
佳作	斎藤 紅香	時空はるけし	札幌市
佳作	酒井 良子	だからこそ	清水町
佳作	高岡啓次郎	寄り道	苫小牧市
【高校生部門】			
優秀賞 北海道教育委員会教育長賞	早川友花里	謝らないで	北海道札幌月寒高等学校
佳作	武田 玲奈	私の母	北海道札幌月寒高等学校
【中学生部門】			
優秀賞 北海道教育委員会教育長賞	棚田 歩	生きる	清水町立御影中学校
佳作	長谷川由紀菜	美しい自然は、ここに	札幌市立手稲東中学校
【小学生部門】			
優秀賞 北海道教育委員会教育長賞	光野 翔星	ぼくのお父さん	江別市立野幌小学校
佳作	高野 玉	アスレチックに行った	帯広市立柏小学校

用紙再値上げに「断固反対」

日印産連が製紙連合会へ表明

一般社団法人日本印刷産業連合会は、製紙メーカー各社が10月21日の出荷分から、印刷用紙・情報用紙を10%以上値上げすると発表したことについて、断固反対を表明した。

値上げ反対の理由として、①今春15～20%以上の値上げを表明し、夏場に実施されたばかりで、印刷企業の多くがまだ得意先に値上げ分の転嫁ができていない状況にあり、半年も経過しないなかでの10%以上の再値上げは、得意先に理解を得ることは極めて困難である。②そういう環境下で印刷用紙を

再値上げすることは、電子媒体への転換を加速し、印刷需要減退に拍車をかける危険がある。③今回の値上げは印刷需要の減退につながり、印刷企業の経営は重い連鎖から脱却できず、倒産や廃業といった経営危機の状況に見舞われる企業が増大することが予想されるとしている。

日本製紙連合会 御中

平成25年10月15日

印刷用紙・情報用紙の値上げ反対について

一般社団法人 日本印刷産業連合会



今般、製紙各社は印刷用紙・情報用紙の価格改定について、10月21日の出荷分から10%以上の値上げを目指すを発表されました。今春、製紙各社は印刷用紙で15～20%以上の値上げを表明し、7月までに実施されたばかりの状況です。印刷企業の多くが、その値上げ分の得意先への転嫁がままならず、採算が悪化している状況にあります。経済情勢は薄日が差しつつありますが、印刷産業をとりまく市場環境は極めて厳しい状況にあるといえます。こうした状況下での印刷用紙（情報用紙）の再値上げは、印刷企業の経営を極度に圧迫する大きな問題となるのは必至であります。

今回の再値上げに対して、日本印刷産業連合会は断固として反対を表明します。

事由

1. 今春打ち出され、夏場に決着したばかりの値上げは、まだ得意先に転嫁できていない状況です。半年も経過しない中で、10%以上の大幅な再値上げは、得意先の理解を得ることは極めて困難です。
2. そうした環境下で印刷用紙を再値上げすると、いっそう電子媒体への転換を加速することになり、印刷需要減退に拍車をかけることになる危険があります。
3. 今回の値上げは、印刷需要の減退に繋がり、印刷企業の経営は重い連鎖から脱却できず、倒産や廃業といった経営危機の状況に見舞われる企業が増大することが予想されます。

以上の観点から、今回の値上げ発表については、日本印刷産業連合会としては容認できる状況になく、ここに断固反対を表明いたします。

印刷を通じて、生活・文化に貢献することが使命である印刷産業は、これからも身近で利便性の高い情報媒体である印刷物を広く社会に提供する責任があり、そのためには印刷用紙の安定価格と安定調達は不可欠であります。

製紙業界と印刷業界は両輪の関係にあり、今後も共通の認識と相互理解が大切と考えております。

以上

経済環境の変化に対応する資金のご案内

北海道は、原油・原材料価格の高騰や電気料金の値上げなど、道内中小企業者を取り巻く厳しい環境に対応するため、中小企業総合振興資金に次のメニューを用意し、中小企業者の資金繰りを支援している。

	セーフティネット貸付	景気変動対策特別貸付	原材料高騰対策特別資金
融 資 対 象	(1)中小企業信用保険法第2条第4項の規定に基づく「特定中小企業者」であることの認定を受けた中小企業者等 (2)中小企業信用保険法第2条第4項の規定に準じるものとして道が特に認めた事由により経営に影響を受けた中小企業者等 (3)経営安定（倒産防止）特別相談室を設置する商工会議所または北海道商工会連合会の推薦を受けた中小企業者等	(1)最近3カ月の生産高（売上高）が前年同期に比べ5%以上減少しているもの (2)最近3カ月の生産高（売上高）が前年同期に比べ減少しており、かつ前年度の生産高（売上高）が前々年度の生産高（売上高）に比べ減少しているもの (3)前年度における純利益額または売上高経常利益率が前々年度に比べ減少しているもの	(1)原料等価格の高騰の影響により、最近3カ月の売上高に対する「売上原価」または「販売費及び一般管理費」の割合が前年同期に比べ増加しているもの (2)原料等価格の高騰の影響を受けている中小企業者等であって、省エネルギーに資する施設や新エネルギー等を使用する施設または環境への負荷を低減させる施設等を導入するもの
資 金 使 途	運転資金	事業資金（運転・設備資金）	(1)運転資金 (2)設備資金
融 資 金 額	1億円以内	5,000万円以内	1億円以内
融 資 期 間	10年以内（うち据置3年以内）	10年以内（うち据置3年以内）	10年以内（うち据置3年以内）
融 資 利 率	《固定金利》 5年以内 …………… 年1.3% 10年以内 …………… 年1.5% 《変動金利》…………… 年1.3% (融資期間が3年を超える取扱いの場合に限る)	《固定金利》 3年以内 …………… 年1.4% 5年以内 …………… 年1.6% 7年以内 …………… 年1.8% 10年以内 …………… 年2.0% 《変動金利》…………… 年1.4% (融資期間が3年を超える取扱いの場合に限る)	《固定金利》 5年以内 …………… 年1.3% 10年以内 …………… 年1.5% 《変動金利》…………… 年1.3% (融資期間が3年を超える取扱いの場合に限る)

□問い合わせ先

近くの信用保証協会、各商工会議所、各商工会、北海道中小企業団体中央会、または道庁経済部中小企業課、各総合振興局・振興局商工労働観光課へ問い合わせください。

平成26年新春経営者研修会のご案内

『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化

2010年秋に、2020年の印刷産業のあり方を提言した「産業成長戦略提言2010～ソリューション・プロバイダーへの進化」が発表されました。

それから3年が経ち、今秋、印刷業界の今後を予測し、ソリューション・プロバイダーとして持続可能な成長を果たして、未来を創る印刷産業へと進化を遂げるための指南書となる『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』が発刊されました。

同書では、「ソリューション・プロバイダーの6類型（戦略方向性）」として、①地域活性プロモーター、

②特定機能プロバイダー、③特定業界スペシャリスト、④メディアプロダクトメーカー、⑤パーソナルメディアショップ、⑥印刷製造スペシャリストが示されています。

新春経営者研修会において、『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』の詳細について解説します。

なお、当日は、別途お送りします『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』の冊子をお持ちください。

記

日 時：平成26年1月10日(金) 午後3時

会 場：札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）

テーマ：『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』の概要について

講 師：全日本印刷工業組合連合会 産業戦略デザイン室 副委員長 岸 昌洋 氏

受講料：無 料

定 員：100人（申込先着順で定員になり次第締め切ります）

北海道印刷関連業協議会 平成26年新年交礼会

北海道印刷関連業協議会の平成26年新年交礼会が下記により開催されます。

記

日 時：平成26年1月10日（金）午後5時

会 場：札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）

会 費：8,000円

オフセット印刷技能士おめでとうございます

平成25年度のオフセット印刷技能検定の合格者がこのほど発表になった。組合員企業の合格者（技能士）は次のとおり。

【1級技能士】池田広海（株式会社アイワード・札幌支部）、細川陽平（同）、村上一三（同）、山下勝弘（同）、山本広樹（同）

【2級技能士】紺野大輔（有限会社サンケイプリント社・オホーツク支部）、松本 大（株式会社アイワード・札幌支部）、千葉健太（中西印刷株式会社・札幌支部）